

事業番号	08 03 13		事業改善シート（25年度実施事業分）			☐ 当初要求		☐ 当初予算案		☒ 補正予算案		☐ 点検	
事業名	農業大学校費					担当課	部局	農政部					
総合5か年計画	プロジェクト						課・室	農業技術課					
	施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業					E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp					
		1夢ある農業を実践する経営体の育成					実施期間		S51 ~				

1 事業の概要

目指す姿	理論と実技を同時に学ぶ実践型の教育により、農業技術の高度化・経営の専門化に対応する知識・技術を修得させるとともに、寮生活や自らテーマを定めて行うプロジェクト学習等により、他者との協調・自己の確立等の社会性を涵養し、21世紀の農業・農村を担う優れた人材を養成する。				
現状	○農業教育の拠点として、農業技術の習得と経営改善に対応できる能力を備えた農業の担い手を養成しており、平成24年10月29日現在、農学部学生は143人となっている。 ○平成23年度卒業生は就農や農業協同組合、農業関連企業に就職し、卒業生の多くが本県農業の振興に寄与しているが、就農率は38.8%と低迷している。				
県が関与する理由	☒ 法令等義務 ☐ 内部管理 ☐ 県でなければ実施不可 ☐ 民間、市町村でも実施可能だが、県関与の必要性有 ☐ その他() 【左記の説明、根拠法令等】 農業改良助長法第7条の5において、農業後継者等に対し、技術及び知識を習得させるための教育を行うことと明記 農業改良助長法(国)、長野県農業大学校条例(県) 長野県食と農業農村振興計画				
成果目標・事業内容	① 成果目標(H25)				
	・ オープンキャンパスや高校等への訪問を積極的に実施し、農学部総合農学科の定員充足率を100%とする。 ・ 質の高い講義・実習を実施し、農学部学生の規定単位充足者率を100%とする。 ・ 就農に向けた支援を積極的に実施し、農学部卒業生の就農率を向上させる。(38.8%(H23)→48.0%(H27)→67.0%(H29))				
	② 事業内容 (単位:千円)				
	項目	実施方法	H25実施内容	H25	
				(補正前)	(2月補正)
				(補正後)	
	農業大学校運営費	直接	・就農を希望する農家・非農家出身者に対し、講義や実習により、農業に関する知識と技術の習得を図る。	42,894	42,894
	実科・研究科費	直接	・生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じて栽培技術の習得を図り、就農へとつなげる。	6,386	6,386
	研修部費	直接	・里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じて新規就農者の技術力向上を図る。	10,216	10,216
	農業大学校施設整備費	直接	・県農大において、農業の担い手を育成するうえで必要となる農業機械や施設の整備を行う。	1,429	1,429
	農業大学校改革推進教育施設等整備事業	直接	・将来の本県農業を担う人材育成の一層の推進を図るため、平成26年度からの農業大学校改革の着実な実行に必要な施設・機械等を一体的に整備する。(6月補正・9月補正)	550,107	-151,527
	合計			611,032	459,505
事業コスト	区分(単位:千円)	22年度	23年度	24年度	25補正後
	前年度繰越	17,808	0	0	
	当初予算	67,887	62,076	65,106	60,925
	補正予算	7,488	4,092	5,459	398,580
	合計(A)	93,183	66,168	70,565	459,505
	国庫支出金	30,175	12,499	13,212	413,523
	県債	0	0	0	
	その他()	20,422	7,457	13,025	7,634
	一般財源	42,586	46,212	44,328	38,348
	決算額(B)	67,106	63,783	66,980	
事業コスト	概算職員数(人)	33.00	33.00	33.00	31.00
	概算人件費	274,461	272,514	272,514	255,998
	概算事業費(B(A)+C)	341,567	336,297	339,494	715,503
要求からの主な変更点		要求どおり			

成果目標の達成状況					
項目	現況(見込)	H25			H26目標
		目標	成果	達成状況	
農学部定員充足率(%)	72%(H24)	100%			
農学部単位充足者率(%)	96%(H24)	100%			
農学部卒業生就農率(%)	38.8%(H23)	42%			